

保護者 様

亀山小学校長 森下 正敏

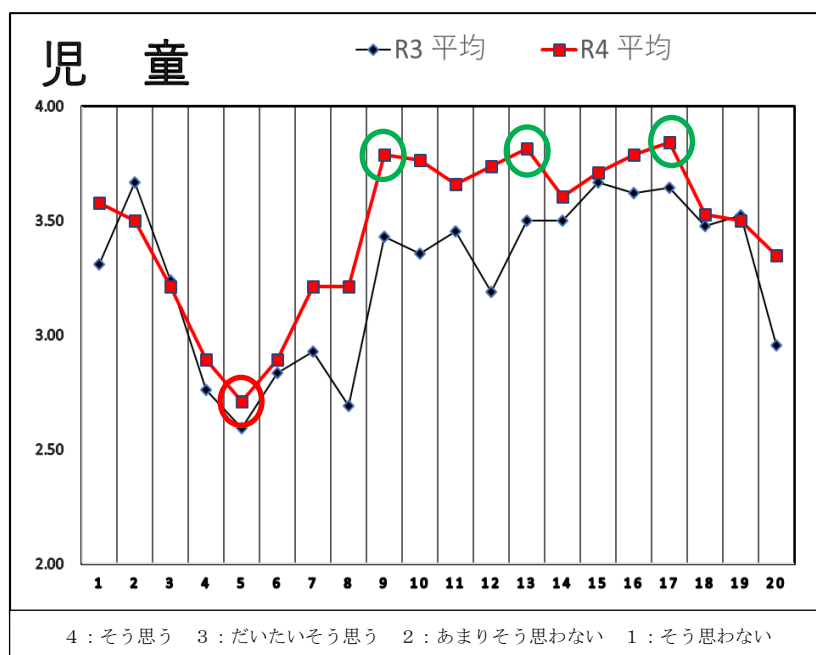
学校評価アンケートの結果について

早春の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和5年2月に実施した学校評価アンケートの結果をお知らせいたします。

1 児童の結果

- 1 わたしは、学校へ行くのが楽しい
- 2 わたしは、友達となかよくしている
- 3 わたしは、みんなにあいさつをしている
- 4 わたしは、早寝・早起き・朝ごはん、朝うんちができています
- 5 わたしは、生活や学習の中で、困ったことや課題に自分で工夫して取り組んでいる
- 6 わたしは、めあてをもって勉強したり運動したりしている
- 7 わたしは、どんなことにもあきらめずに取り組んでいる
- 8 わたしは、みんなのためになることを進んでいる
- 9 先生は、よくわかるように教えてくれる
- 10 先生は、わたしたちをよく見ていてくれる
- 11 先生は、いじめやけんかのときしっかり話を聞いてくれる
- 12 先生は、よいことをしたときほめてくれる
- 13 先生は、命の大切さを教えてくれる
- 14 わたしは、安全な自転車の乗り方や歩き方をしている
- 15 わたしは、地震やふしん者から自分を守るやり方を知っている
- 16 わたしは、うしのけ山で遊んだり、亀山校区の見学をしたりすることがすきだ
- 17 わたしは、亀の子班活動で他の学年の子と遊んだり運動したりすることがすきだ
- 18 わたしは、汗の広場で野菜を育てることがすきだ
- 19 わたしは、「うしのけ」やおたよりを、必ず家の人に見せる
- 20 わたしは、部活動に取り組むことが好きだ



(1) 高評価の項目について (○印)

子どもたちの自己評価は、20問中17問が4点満点の3点を超えており、全体的には、充実した学校生活を送っていると考えられる。中でも、9. 13. 17の3項目は特に評価が高く、子どもたちが真剣に学習に取り組んだり、違う学年の子とも仲良く遊んだりしている様子がうかがえる。実際、休み時間に、異学年が一緒になって長縄やサッカーを楽しんでいる様子が日常的に見られる。

(2) 低評価の項目について (○印)

5の「自分で工夫して取り組んでいる」という項目が最も低い。しかし裏を返せば、困ったときにすぐ周りの人が助けてあげているとも考えられるが、子ども自身が「自分で工夫して取り組んでいない。」と感じているのが実態である。

(3) 令和3年度との比較

ほとんどの項目で、子どもたちの自己評価が向上している。中でも、8の「わたしは、みんなのためになることを進んでしている」が、最も向上しており、自己有用感が高まってきていると思われる。一方、2の「友達となかよくしている」の評価が、昨年度と比べ、若干下がっている。

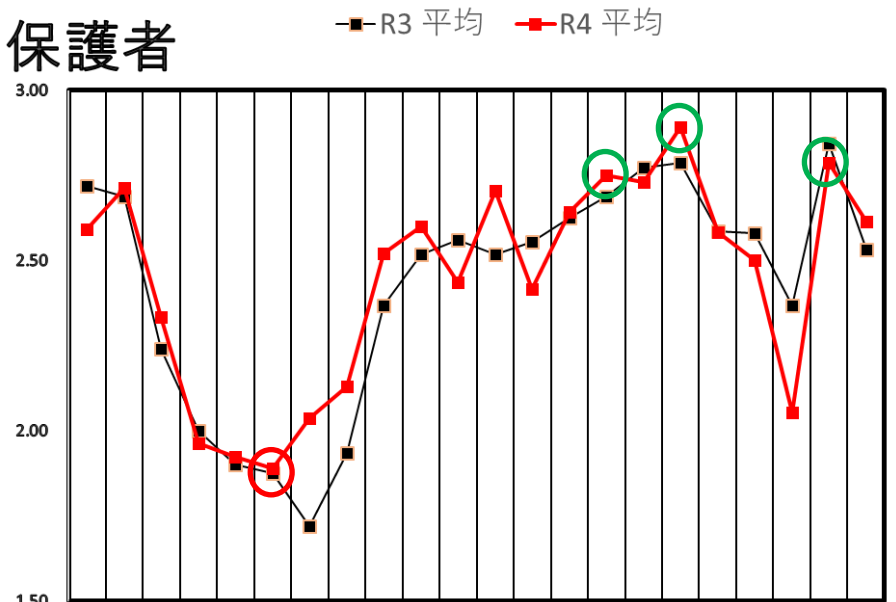
(4) 今後の課題

今後も、少人数の利点を生かし、一人一人の子どもの声をよく聞き、丁寧な指導を心掛けたい。そして、子どもたちの「主体性」を伸ばすため、新しいことに時間をかけて挑戦させることや、子ども同士など、人と人との関わり合いがより深まる活動を工夫していきたい。

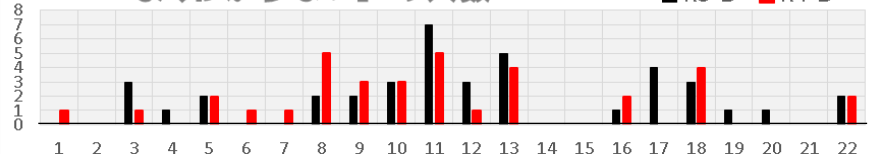
2 保護者の結果

- 1 お子さんは、楽しく学校へ行っている
- 2 お子さんは、友達となかよく生活している
- 3 お子さんは、みんなにあいさつをしている
- 4 お子さんは、早寝・早起き・朝ごはん、朝うんちができています
- 5 お子さんは、生活や学習の中で困ったことや課題に自分で工夫して取り組んでいる
- 6 **お子さんは、めあてをもって勉強や運動に取り組んでいる**
- 7 お子さんは、どんなことにもあきらめずに取り組んでいる
- 8 お子さんは、人のためになることを進んでしている
- 9 先生は、よくわかるように教えてくれる
- 10 先生は、子どもの様子をよく見てくれている
- 11 先生は、いじめやけんかのときしっかり話を聞いてくれる
- 12 先生は、子どもがよいことをしたときほめてくれる
- 13 先生は、命の大切さを教えてくれる
- 14 学校は、交通安全のルールを正しく教えている
- 15 **学校は、不害者や地震など安全を守る取り組みをしている**
- 16 学校は、ふるさとのよさに気付かせるように教えている
- 17 **亀の子班活動で、他学年の子どもとのふれあいを深めている**
- 18 汗の広場の活動は、学校にとって大切である
- 19 「うしのけ」やお便り、ブログで、学校の様子や教育方針がよく分かる
- 20 お子さんは、部活動に意欲的に取り組んでいる（4年以上）
- 21 **学校は、地域やPTAと協力して活動している**
- 22 学校は、保護者からの相談に対して適切に対処してくれる

保護者



「D：よくわからない」の人数



3：よくあてはまる 2：ややあてはまる 1：あまりあてはまらない D：よくわからない

(1) 高評価の項目について（○印）

調査項目の中では、15, 17, 21の3項目が高評価であった。特に17「亀の子班活動で、他学年の子どもとのふれあいを深めている」は、28人中25人が「よくあてはまる」、残りの3人が「ややあてはまる」と答えており、子どもたちのアンケートで評価の高かった「他の学年の子と遊んだり運動したりすることがすきだ」からも同様の結果がみられる。

(2) 低評価の項目について（○印）

6「お子さんは、めあてをもって勉強や運動に取り組んでいる」が、今年度の調査では最も評価が低かった。これも、子どもで評価が低かった「工夫して取り組んでいる」とよく似ている。

(3) 令和3年度との比較

全体的に、昨年度とよく似たような結果となった。その中で、7「お子さんは、どんなことにもあきらめずに取り組んでいる」の評価が上がり、20「お子さんは、部活動に意欲的に取り組んでいる」の評価が下がっている。

(4) 今後の課題

子どもの「主体性」を伸ばし、子ども同士等、人と人との関わりを深めていくことが大切であると考え。また、22問中14項目において、D「よくわからない」という回答があった。今後もおたよりや新聞、ブログ等で、学校の様子を積極的に発信し、もっと開かれた学校を目指していきたい。